

■ 修士論文要旨

# 女性の社会進出と少子化問題

## －アメリカ・日本・中国における比較研究－

How Women Working Affects the Birthrate  
－A Comparative Study of the United States, Japan, and China－

神奈川大学大学院 経営学研究科  
国際経営専攻 博士前期課程

胡 愛 輝

HU Aihui

■ キーワード

女性の社会進出、少子化、社会環境

この論文は、女性労働に関する環境や現状および男女平等に対する社会の意識について、アメリカ、日本、中国を比較することによって、女性の社会進出を取り巻く諸問題の要因や影響を明らかにし、女性労働の未来を展望することを目的としている。

女性の社会進出と少子化の進行に関わる問題は、社会の安定や経済の発展にとって重要であることから、本論ではとくに女性の社会進出と少子化問題に着目して議論する。よく、女性の社会進出と少子化の進行との間には相関関係があるのではないかという議論がなされるが、本論文では両者の関係性を分析する上で、この関係性に影響するいくつかの社会環境的要因を抽出して議論する。これら影響要素を適切に処理すれば、女性の社会進出の促進と少子化問題の解決は、良好な循環に入る可能性が大きいと思われるからである。

そこで、本論では、女性の社会進出が進んでいるアメリカ、先進国でありながら伝統的意識の強い日本、そして、この2カ国を追う新興国として

経済発展に伴う社会変化の著しい中国の3カ国の状況を比較し、女性の社会進出と少子化の関係性に影響する要因を明らかにする。女性のさらなる社会進出を進め、少子化問題を解決するには何が重要かを提示する。

具体的な論述内容としては、第1章では問題提起、および本論文の目的を述べ、第2章では米・日・中における女性の社会進出の状況を比較し、各国における女性の社会進出の歩み、女性労働の必要性および現状を論ずる。第3章では米・日・中3カ国における少子化の状況を見ていく中で、女性の社会進出と少子化問題との関係性を確認する。第4章では、両者の関係性に影響する社会環境要因のうち、主として、男女平等意識の問題および女性の社会進出支援政策と子育ての支援策を中心に、米・日・中3カ国の状況を比較する。そして第5章では、以上の内容を踏まえて、女性の社会進出の促進と少子化問題の解決に資する提言を行いたい。

米・日・中3カ国の比較研究の結果から判明し

た女性の社会進出にとって重要な社会環境的要素とは、男女平等意識の普及、企業による女性の有用性の認識、国や地方自治体による仕事と子育ての両立支援策の導入、国による男女平等を保障する強制力のある法律の実施と企業による法の遵守の重要性である。これらを踏まえ、米・日・中各国の文化的・伝統的な認識を明確にした上で、それぞれの国情と社会的発展段階に見合った対策を提言する。

アメリカでは、女性の社会進出が当たり前になると同時に、男性の意識の面でも女性労働者や女性管理職を認める環境が整ってきた。そのうえで、企業が従業員の仕事と家庭のバランスを保つような制度を導入することで、出生率も回復してきたことが分かった。女性の社会進出の支援プロセスにおいては、雇用機会均等法と積極的差別是正措置（EEO-AA; Equal Employment Opportunity and Affirmative Action）などの制度施行における強制力の効果が大きいことも明らかになった。

日本ではアメリカの自由思想を受け継いではいるが、男女とも伝統的な意識に束縛される部分が多く、女性の社会進出が行き詰っている。法制度的には平等を提唱しているが、強制力が足りない。このような環境下で、仕事と家庭のバランスを取り、少子化を止めるのが難しいことが分かった。

アメリカの事例を参考に、明確な数値目標を定めて強制力をもたせるなど、実効を伴う政策が期待される。

中国では、1949年建国以来、社会主義の下で男女平等意識が普及したが、1978年改革開放による経済自由化以降、アメリカや日本と同じように市場原理下で女性の社会進出を推進しなければならない状況にある。その上、日本と同様に男女役割分業などの伝統的な意識が根強く存在している。このような環境下で、企業に強制力のある制度がないと、形だけの女性保護を標榜しても女性の社会進出はうまくいくはずがない。また、現在中国では「一人っ子政策」が転換期を迎え、女性の社会進出や男女平等、仕事と家庭のバランスなどの問題が山積している。これらの問題解決のための政策に実効性をもたせない限り、近い将来予測される少子化の深刻化を未然に防ぐことはできないだろう。

今の世界では、経済の変化や少子高齢社会が進展する中で、男女共同参画社会の推進が社会を活性化し、現在の社会が直面するさまざまな課題の解決や経済成長にも繋がるので、この点において、女性の社会進出と少子化問題についてはこれからも注目していきたい。